

り方について社会福祉協議会と協議することを検討してまいります。

## ハザードマップ作成

▼意見 ハザードマップの作成が予定されているが、昨今の急激に変化する大雨の頻度と雨量に対する認識が希薄である。昨今の情勢は、暴風や水害が主であり、水害を主にした訓練をするべきである。

▼回答 これまで火災対応中心であった地域での訓練については、今後、水害や土砂災害を想定した避難訓練や避難所開設・運営に関する訓練なども必要と考えております。実施にあたっては、各地の自主防災会や集落会、婦人会や、福祉施設等との情報共有を図り、対応してまいりたいと考えております。

## 林業成長化総合対策事業

▼意見 林業成長産業化総合対策事業の皆伐・集材・地捲え・植栽の事業（五反

沢字多々羅沢<sup>3-5</sup>）については、林齢が77年で、希少な村の財産であるので、将来のため、皆伐事業は再検討すべきである。

## 皆伐・集材・地捲え・植栽の一貫作業について

▼回答 皆伐・集材・地捲え・植栽の一貫作業については、これから主流になると考えられ地元業者の育成や植栽後の保育事業などにもつながります。

森林は伐採して植栽することによってCO<sub>2</sub>の吸収が増加されます。森林は再生可能な循環型資源であり、かつ財産造成を兼ね備えておりますので、収支計画をしつかり行いながら適切な木材事業を行つてまいります。

## 村道補修工事

### ▼意見 村道福館五反沢線

▼回答 本格的な工事が必要な箇所



傷みが激しい村道福館五反沢線

## 歳入

### 滞納繰越関係

▼意見 特定の多額未納者については、債権検討委員会に諮り、弁護士の協力のもとに強制執行も必要と思われるので検討すべきである。

▼意見 センター運営については、山菜など農家に直接の所得に繋がるような事業運営を開拓してもらいたい。併せて貸付地を見直し、県内外からの耕作者を求めて交流人口・関係人口を増やすべきである。

については、調査のうえ村単独事業で行つていくよう検討してまいります。

▼回答 複数の債権を持ち滞納額が高額になつた場合、定期的に納めていても、なかなか解消につながらないケースもあり対応に苦慮しているところです。これらにつきましては、引き続き、債権管理検討委員会で情報共有を図りながら、解消にむけた取り組みを検討してまいります。

## 手数料・使用料

### ▼意見 社会情勢の変化や消費税の改定、近隣市町村の状況に合わせ、各種使用料及び利用料、手数料の見直しをはかるべきである。

▼回答 手数料につきましては、他市町村と比較して安い状況が見られますので、今後見直しも検討してまいります。

公共施設の使用料については、今後、各施設の規模・用途に応じた適正な料金設定を、近隣市町村の状況も踏まえながら検討してまいります。

## 質問

### 空家等対策検討委員会の開催は

村長 今後、年1回は開催



【河村良満議員】

が勘案され、空家等対策検討委員会で意見を集約し、最終的に村長が決定する。現在、特定空家等はないが、

行政代執行での特定空家等に対する認識、情報の共有を図る



行政代執行で初めて除却された国道285号沿いの空家（平成27年3月倒壊）

これまで「特定空家等」と認定し、行政代執行で除却した空家は4軒。村内には、まだ危険となる恐れがある状態の空家があるため、「空家等対策検討委員会」の定期開催（年1・2回）が必要ではないか。

河村議員 高齢者ドライバーが、アクセルとブレーキを踏み間違えて、事故を起こすケースが全国で頻発している。

河村議員 現在、上小阿仁村社会福祉協議会が運営する「特別養護老人ホーム杉風荘」へ村から10名（管理栄養士1名、介護員5名、看護師3名、准看護師1名）の職員が出向している。

河村議員 新年度になつてからでも構ないので、早めに話し合いの機会を設け、出向職員の方々の不安を解消していただきたい。

河村議員 特定空家等とするかどうかの判断や、指導・助言の内容は、危険度の調査のほか、空家の立地条件等

報道があつた。本村でも、75歳以上の高齢者が、そうした安全運転装置を購入した場合や、安全運転装置が装着された自動車を購入した場合、その購入費用の一部を助成する考えはないか。

「丸3年」経過することになるが、10名の出向職員を今後どのように処遇していくのか。

村長 県の段階では、国における対応を注視する意向を示しており、その後、政府では65歳以上の高齢運転者を対象に「サポカー補助金」が盛り込まれた補正予算が成立している。南相馬市のように、市町村単独での補助を行つている自治体は県内ではないが、県の対応や近隣市町村の動向など、この制度の普及がどこまで進展するのかを見極めて対応していきたい。

改めて、村長と職員との話し合いの場を持ち、お互いの理解のもとで働いてもらうことが一番ではないかと考えている。

### 空家等の対応

#### 車の安全装置 購入費の助成

うえでも、今後、年1回は開催するよう努めてまいりたい。

なお、平成27年度の調査で空家数は79軒であった。

後も村の職員として変わらぬ待遇で経過してきている。10名の派遣職員のうち、3月で看護師2名が早期退職されるので、4月からの派遣職員は8名。村社会福祉協議会からは、専門職であり派遣期間満了後の再就職の職場として選んでいただければとの思いもあるようだ。定年の延長もしている。

村長 村から派遣されている職員の連続する有効労働期間は5年以内とされる。派遣職員には、民営化

## 質問

# 一連の施策の進め方 看過できない

村長

## 行事や公務の対応 適宜判断した結果



【伊藤秀明議員】

として提案したが2度も否決され、議員各位の見解を示していたときくらい。今後、副村長や監査委員人事を公募で行うことも検討しなければならないと思っている。教育委員の人選についても苦慮したが、本定例会に欠員と任期満了に伴う委員2名を提案している。

## 村長としての行財政運営と政治姿勢

### 職員(協力隊・会計年度任用職員)の採用と勤務時間

伊藤議員

地方自治法では、地方公共団体に2人の監査委員を置くことになつていいが、否決を理由に欠員。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員4人を置くとされているが、1人欠員となつており、早急に解決すべきである。

村長 監査委員については、十分な見識を持ち、適任者である。

伊藤議員 選挙公約に掲げた村職員の働き方改革の退庁時間申告制の導入について、どうなつたのか。会計年度任用職員の勤務時間がどうして縮小したのか。

伊藤議員 退庁時間の申告制については、なかなか浸透でききないのが実情のようである。

### タイムカプセルの開封時期

伊藤議員

庁舎前に埋設されているタイムカプセルは、北林孝市村長時代に埋設したものであるが、一般的なステンレス製なら10年から20年を中途に掘り起こすのが良いと言われている。タイムカプセル 자체は大丈夫でも中身が劣化してしまうこ

る。仕事の量や書類の提出期限の関係で、やむを得ない実情もあり、思うような改革に至っていないが、4月からは退庁時間の管理を徹底したい。勤務時間の短縮は、職種一つ一つについて課長会議でチェックし、総合的に判断して募集を行つたものである。



ステンレス製のタイムカプセルに作品を納める様子

とが多々あるようなので、50年後でないと開封できない理由があるとすれば公開るべきでは。

伊藤議員 選挙公約に、「皆伐再造林一貫システム」を実施する予定。農林業などのように手助けしていくのかは喫緊の課題であると受け止めている。人口減少、高齢化による労働力不足を解決することは、簡単ではないが、国の制度等を活用しながら解決に向けた取り組みを考えていきたい。

村長 タイムカプセルは、平成元年10月26日、村政100周年記念碑の台座に埋設されたもので、丸31年が経過している。50年後に開けられる予定との文面が、当時の広報に掲載されており、当時の思いを尊重し、方針は変えないで50年後に開封すべきと考えている。

伊藤議員 タイムカプセルの中身を把握しているか。この状況を改善するために就労支援など新たな施策を展開していく」と申している。具体的な施策・対策を伺う。

## 令和2年度の新規事業

伊藤議員 選挙公約に、農林業の施策は全く無いが、施政方針の中で「基幹産業である農林業の後継者や雇用の確保が心配されるので、こうした状況を改善するために就労支援など新たな施策を展開していく」と申している。具体的な施策・対策を伺う。

## 質問

# 圃場の整備を 条件不利地域の解消

村長

話し合いを通じ

合意形成を図ること



【齊藤鉄子議員】

## 農業振興政策

齊藤議員

耕作しやすい農地を残すために圃場整備は必要となるが、耕作を休むことで収入減になり、二の足を踏んでいる。村独自の奨励金を出して、事業を推進できないか。

村長 圃場整備事業については、令和3年度以降、一部の調査費用を除いて農家負担はない。要件としては、事業対象農地全てに農地中

間管理権が設定されていること、50ha以上であることや、農地中間管理権が15年以上であること、担い手への集団化要件や事業完了後の収益向上要件などをクリアする必要がある。

事業費の負担区分は、国62・5%、県27・5%、市町村10%、農家負担なしとなつている。圃場の整備期間によって伴う不耕作による収入減の補てんは、他の自治体の事例などを参考にしながら検討していきたい。

また、この事業は3年の調査事業が必要であり、話し合いを通じた合意形成が必要で、土地改良区の関りも非常に重要となる。しかし、現在の土地改良

## 女性消防団員の確保

齊藤議員

今、集落において昔ながらの伝統行事をやめたり、面倒なことはしたくないなどの傾向にあらざる。各集落に女性消防団員が1人でも2人でもいることで、繋がりを生み、支えながら安心・安全な生活を送ることができると思う。そこで、



令和2年消防出初式

区の体制では厳しい状況と考えられることから、持続性のある農地利用を目指すために土地改良区の体质強化に向けて、村としても必要な支援を検討していくたい。

村長 女性団員の募集については、消防団の組織の在り方や、女性団員がいれば担当することになるであろう役割、人數を想定し、実際に人員確保が可能かどうかなど、村の実情に合わせた検討が必要だと思う。村では今年度から、広域消防署を退職された方々や年齢により消防団を退団された方に、消防団の運営指

村でも特定の役割や活動が行えるように制度をつくり、女性団員を募集してはどうか。

村長 女性団員の募集については、消防団の組織の在り方や、女性団員がいれば担当することになるであろう役割、人數を想定し、実際に人員確保が可能かどうかなど、村の実情に合わせた検討が必要だと思う。

女性団員を募集してはどうか。女性の方にも災害時の後方支援などお願いできればありがたい。今後、消防団長はじめ、関係者、関係機関と共に話し合いを行い検討していきたい。

齊藤議員 機能別団員として女性消防団員を組織した方が活動しやすいと思う。また、男性団員と同様、報酬も支給していただけると入団しやすいのでは。

住民福祉課長

機能別団員の年額報酬はないが、出勤した際には費用弁償という形で団員と同額が支給される。また、身分としては消防団員になるため、公務災害補償と適用を受けることになる。

齊藤議員

ちなみに北秋田市では、その機能別団員報酬が年額6000円で、出動手当が2500円ということがあつた。女性ならではの支援もできると思うので、ぜひ検討してもらいたい。

# 質問

## 再造林促進のため

## 補助金の嵩上げを<sup>かさ</sup>

村長

制度創設に向け 努力していきたい



【北林義高議員】

している。委託業者から、耳には入つてこないが、予定した仕事も減り、人件費の支払いなど大変だと推測できる。

現在の除排雪体制は、決して余裕のある台数ではなく、住民の冬季生活道路の確保を図るために、現在の体制を維持する必要がある。

北林議員 大館市では、管理の不十分な私有林36haに経営管理権を設定して林業に委託し、一部は市が直接、間伐や植林を行うとしている。村でも

議員が心配されているように、除雪事業を辞めないよう話し合いの場を設け、どんな救済措置が可能か検討したい。

### 村有林、民有林を含め今後の利活用



### 一斉出動回数

年度	12月	1月	2月	3月	計
R 1	4回	3回	4回	0回	11回
H 30	7回	8回	5回	0回	20回
H 29	9回	8回	7回	2回	26回
H 28	3回	11回	12回	0回	26回
H 27	1回	11回	8回	1回	21回

村長 一斉出動は、例年の4割程度となっている。業者委託契約では、除雪機械1台あたり12月と3月は10時間分、1月と2月は20時間分を補償することに

北林議員 今年は暖冬で、楽な冬だったと思うが、除雪を請負う業者は大変だと思う。排雪や工事の発注を早めるなどの対応策が必要ではないか。

林が増えてくる。村有林、民有林も大きなウエイトを占めており、今後の活用次第で村の財政にも大きな影響が出てくると思う。

このからの村の施策は。

村長 最近、分け山の伐採が進んでいる。今後また、森林の豊かな村に蘇るよう、地拵え・再造林までの補助制度を創設したいと考えている。

北林議員 この山林については、なかなか再造林が進まない状況である。現在、補助事業の場合は、森林整備事業で補助金の嵩上げを行なっている。今後、可能な限り再造林が進む施策を考えていきたい。

建設課長兼産業課長 民間の山林については、なかなか再造林が進まない状況である。現在、補助事業の場合は、森林整備事業で補助金の嵩上げを行なっている。今後、可能な限り再造林が進む施策を考えていきたい。

# 定例会の年間計画

区分	開催年月日	会期
令和2年 6月定例会	6月10日(水)～12日(金)	休会を除く会期3日間
令和2年 9月定例会	9月 7日(月)～17日(木)	休会を除く会期9日間
令和2年12月定例会	12月 9日(水)～11日(金)	休会を除く会期3日間
令和3年 3月定例会	3月 4日(木)～16日(火)	休会を除く会期9日間

※会期日数は、当局からの提出議案数などをもとに議会運営委員会で協議し、本会議に諮って決定します。村の行事等によって変更される場合もあります。

か  
ら、  
2  
0  
3  
0  
年  
ま  
で  
の  
10  
年  
間、  
事  
つ  
が  
売  
な  
の  
で、  
理  
解  
す  
る  
が、  
「  
公  
費  
で  
の  
移  
動  
販  
賣  
事  
業  
所  
と  
の  
協  
議  
が  
行  
わ  
れ  
ま  
し  
た。  
議  
員  
か  
ら  
は、  
事  
業  
の  
必  
要  
性  
は  
い  
か  
が  
な  
も  
の  
か」  
な  
ど  
の  
意  
見  
が  
出  
さ  
れ  
ま  
し  
た。  
ま  
た、  
秋  
田  
県  
林  
業  
研  
修  
セ  
ン  
タ  
ーと  
の  
協  
定  
を  
交  
わ  
し  
た  
こ  
と

人口減少、少子高齢化に加え、村内の商店数の減少などに伴う買い物弱者対策の移動販売事業について、議会への提案、協議が行われました。

議員からは、「事業の必要性はないのではないか」「予算も通じない段階で移動販売に従事する協力隊を募集しているのか」などの意見が出されました。

また、秋田県林業研究研修センターとの協定を交わしたこと

・移動販売車事業について  
・高校生就学応援金支給要綱について  
・上小阿仁橋撤去工事について  
・上小阿仁村村有林における秋田林業大学校の利活用に関する協定について  
・その他

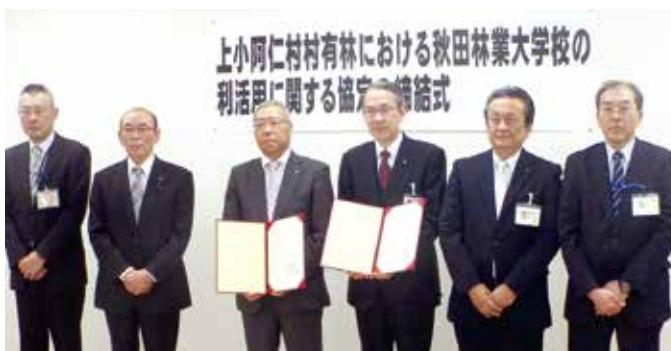
協議案件

第1回  
議員全員協議会  
2月21日(金)

議会の動き

4月1日付けで職員の人事異動があり、事務局長の田村秀幸が総務課長に、後任の事務局長の大沢寿が建設課長兼産業課長の大澤寿が発令されました。

事務局人事



上小阿仁村村有林における秋田林業大学校の利活用に関する協定の締結式（1月29日）

林業大学校1、2年生約30人がコアニティーに滞在し、森林調査、測量、間伐、作業道の開設などを研修すると報告がありました。

今年は雪もなく、大変楽な冬となり、村民の皆さんも喜んでおられたと思います。冬の終わりに始まった新型コロナウイルスが世界中で感染が拡大しており、多数の死亡者が出ております。

全国の小中学校でも、春休み前に休校となり、参加者を制限される寂しい卒業式となりました。その中で中学校卒業生全員が志望校に合格出来ました事は、本当にめでとうございます。

新年度が始まりましたが、再度の休校や行事の中止、縮小を余儀なくされております。子供たちのためにも、一日でも早くコロナウイルスが終息し、安定した生活が戻りますように心よりお祈りいたします。

編集委員

委員長 副委員長  
北萩齊河武  
林野藤村石  
義芳鉄良辰  
高紀子満久

(北林記)

編集後記